

そらだ
稲を、
学ぼう。

作物学研究室
上地ゼミ

稲のことは稲に聞け

農業のことは農民に聞け

農大生なら誰しもが知っている、
初代学長横井時敬先生のお言葉、
「稲のことは稲に聞け」

農業のことは農民に聞け」。

そこにも出てくる「稲」、

日本の食生活に欠かせないもので
あり、

日本の農業に欠かせないものでも
あります。

そんな稲について、米について、
様々な視点から研究する、

上地ゼミはそんな研究室です。

研究の取り組み方

持続的な作物生産技術を生理的な視点、
環境的な視点、品質面やエネルギー効率
の面から研究

 圃場における栽培試験

 生産現場での実態調査

 実験室での成分分析

高位安定生産

食育

地上部バイオマス

穎花数

窒素管理モデル

高品質

体内窒素

堆肥施用

低環境負荷

資源・エネルギーの高度利用

研究のキーワード

主な利用品種

コシヒカリ

日本晴

タカナリ

ミルキークイーン

オオナリ

ササニシキ

ツキアカリ

キヌヒカリ



具体的な研究テーマ

1. イネの低投入・低環境負荷型生産技術に関する研究
2. イネ栽培における窒素の効率的利用に関する研究
3. 生産者および消費者のニーズに対応した栽培技術に関する研究
4. イネ栽培学習の実践活動に関する研究

おまけ

(稲を研究しているからこそ)

あるある!?!

(個人差有)

外食時、お米が
出てきた際、品
種が気になる

機械を使わないで穂1粒
ずつと向き合うことが多
いので手先が器用になる

日本晴を“にほんば
れ”と読まれると訂正
したくなる

カエルは
お友達

洋服に穂がつい
ている(気づか
ない)

